

一般社団法人工業製品製造技能人材機構(JAIM)について

2026年3月18日(水)

1. 一般社団法人工業製品製造技能人材機構(JAIM)の概要

- ◆ 一般社団法人工業製品製造技能人材機構(JAIM)は、特定技能外国人の適正かつ円滑な受入れ推進を担う特定技能外国人受入事業実施法人として、2025年6月25日に経済産業大臣による登録を受けています。

名称	一般社団法人工業製品製造技能人材機構 Japan Association for Human Resources in Industrial Product Manufacturing(略称 JAİM)
設立年月日	2025年4月7日
目的	特定技能外国人の受入れに係る製造事業者団体等が協力して、工業製品製造業分野における特定技能外国人の適正かつ円滑な受入れの実現に向けた事業を行うことにより、製造業分野における人材の確保を図り、もって我が国の工業製品製造業の健全な発展に資することを目的とする
事業内容	<ul style="list-style-type: none">● 製造業分野特定技能外国人の適正かつ円滑な受入れの実現に向けた行動規範の策定及び当該規範の適正な運用● 製造業分野特定技能外国人の技能評価に関する事業● その他本法人の目的を達成するために必要な事業
正会員数	33 ※2026年2月末時点
賛助会員数	12,713 ※2026年3月9日時点

2. JAIME正会員一覧

◆ 以下の33団体が正会員として加入いただいております(2026年2月末時点)。

- 日本繊維産業連盟
- 全国段ボール工業組合連合会
- 全日本紙器段ボール箱工業組合連合会
- 一般社団法人日本印刷産業連合会
- 全日本印刷工業組合連合会
- 全国グラビア協同組合連合会
- 全日本製本工業組合連合会
- 全日本プラスチック製品工業連合会
- 日本ポリオレフィンフィルム工業組合
- 一般社団法人全国コンクリート製品協会
- 一般財団法人日本陶業連盟
- 一般社団法人日本鉄鋼連盟
- 一般社団法人日本鑄造協会
- 一般社団法人日本ダイカスト協会
- 一般社団法人軽金属製品協会
- 一般社団法人全国鐵構工業協会
- 一般社団法人日本サッシ協会
- 一般社団法人日本金属プレス工業協会
- 日本工業塗装協同組合連合会
- 全国鍍金工業組合連合会
- 一般社団法人日本溶融亜鉛鍍金協会
- 一般社団法人日本金属熱処理工業会
- 一般社団法人日本フルードパワー工業会
- 一般社団法人日本冷凍空調工業会
- 一般社団法人日本建設機械工業会
- 一般社団法人日本工作機械工業会
- 一般社団法人日本半導体製造装置協会
- 一般社団法人日本ロボット工業会
- 一般社団法人日本電子回路工業会
- 一般社団法人電子情報技術産業協会
- 一般社団法人電池工業会
- 一般社団法人日本RPF工業会
- 日本梱包工業組合連合会

※各団体に対応する日本標準産業分類順に掲載

3. JAIM賛助会員年会費について

- ◆ 一般社団法人工業製品製造技能人材機構(JAIM)は会員の皆様からお預かりした会費で運営されています。

賛助会員年会費

	①正会員団体に所属する場合	②正会員団体に未所属の場合
中小企業	60,000	63,000
大企業	80,000	83,000

- JAIM賛助会員会費は、雇用している特定技能の人数、1号/2号の区分に関わらず一律ですが、事業所ごとにお支払いが必要です。サービスの利用にあたり、これ以外の費用はかかりません。
- JAIM賛助会員は、会員限定の各種サービス(試験対策、セミナー、各種講座等)として皆様に還元してまいります。詳細は次ページ以降でご案内いたします。
- JAIMの財務状況に関する報告資料は、法令に従い毎年弊機構HP上で開示する予定です。

4. JAIME賛助会員向けサービス(2025年度実施分)

◆ 立ち上げ(2025年7月)以降、2025年度に実施した、JAIME会員向けサービスは以下のとおりです。

分類	項目	概要
①共通基盤整備	■ 賛助会員向け相談窓口の設置・運営 ■ 賛助会員入会事務手続きの対応	企業向け相談窓口・賛助会員入会事務局の立ち上げ・運営を実施
	■ JAIMEポータルサイト機能強化	JAIME HPの立ち上げ、賛助会員申請受付、各種資料公開、多言語翻訳機能の追加等を実施
②情報提供、情報交換・交流	■ メールマガジンの配信	メルマガ会員の受付、情報提供
	■ セミナーの開催(海外)	ベトナム、フィリピン、インド、インドネシア、ミャンマーの5か国で、「日本の製造業で働くための特定技能セミナー」を実施
③技能評価試験対策、日本語教育	■ 製造分野特定技能評価試験 学習用参考テキストの作成、展開	試験対策を見据えた教材等を作成、展開
	■ 製造分野特定技能評価試験 学習用参考テキスト概説講座	学習用参考テキストをもとに 2号評価試験の受験予定者を対象とした概説講座
	■ 特定技能外国人への日本語教育講座 の実施	特定技能1号外国人向けにオンライン日本語教育講座

4(参考). 賛助会員向けサービスの紹介：メールマガジン

- ◆ 毎月1回、特定技能外国人材の受入れに関する各種資料や送出し国の現地情報など、受入れ機関の参考となるような情報をホームページの「コラム」およびメルマガで配信しております。

目的

- 特定技能外国人材の受入れに関する各種資料や送出し国の現地情報など、受入れ機関の参考となるような情報をメルマガとして配信。
- 会員に、新法人をより身近に感じていただくとともに、新法人のホームページ(ポータルサイト)の継続利用を



実施事項

- 毎月1回メルマガを配信。今年度JAIMのHPに掲載したコラムは以下のとおり。

	コラムの内容
10月	・インドネシアの基礎情報、文化 ・現地職業紹介事業者の紹介(ベトナム)
11月	・タイの基礎情報、文化 ・現地職業紹介事業者の紹介(フィリピン)
12月	・ベトナムの基礎情報、文化 ・現地職業紹介事業者の紹介(インドネシア)
1月	・フィリピンの基礎情報、文化 ・現地職業紹介事業者の紹介(タイ)
2月	・現地職業紹介事業者の紹介(フィリピン) ・就労希望者の声(ベトナム)
3月	・就労中の方の声(タイ、インドネシア)(予定)

- メルマガでは、上記の他、特定技能試験に関する情報、JAIMのセミナー、テキスト等の情報、政府の発表資料等を配信。

JAIMホームページ上
「お役立ちコラム」
にも記事を掲載



成果・課題

- 配信数は1万件を超えている。
- より多くの方に、開封して読んでいただけるようなコンテンツの充実を図る予定。

	配信数
2025年10月	322
11月	5,583
12月	12,504
2026年 1月	13,495
2月	14,330
3月	(3月下旬配信予定)



メールマガジンの一例



コンテンツ例

4(参考). 賛助会員向けサービスの紹介： 製造分野特定技能評価試験学習用参考テキスト

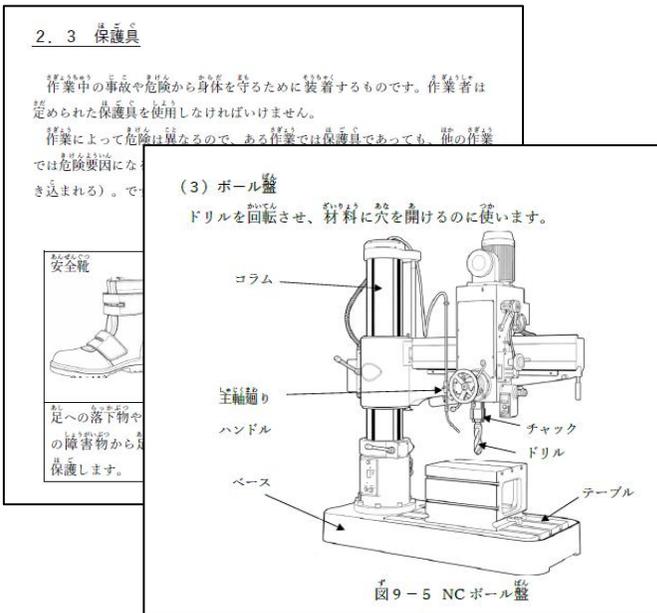
◆ 製造分野特定技能1号評価試験(1号試験)及び製造分野特定技能2号評価試験(2号試験)の受験に向けた学習の参考となるテキストを作成・公開しております。 ※2号試験のテキストは賛助会員向けの限定的な公開。

目的	実施事項	成果・課題
----	------	-------

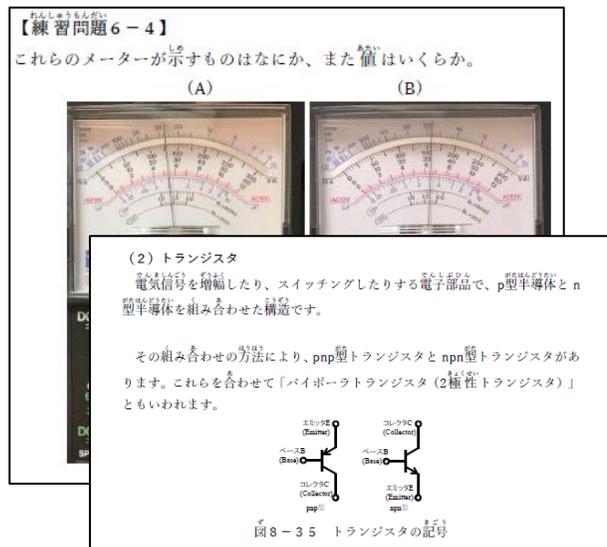
- 1号試験・2号試験について、試験区分ごとにテキストを作成し、受験に向けた学習の参考としていただくことを目的とした。
- また、試験の対策だけでなく、日常の業務に関係する知識の習得や確認のために活用いただくことを目的とした。

- 機械金属加工区分、電気電子機器組立て区分、金属表面処理区分の3つの試験区分について、1号試験と2号試験のそれぞれのテキストを作成した。2号試験については、ベトナム語とインドネシア語への翻訳も行った。
- 1号試験のテキストは、JAIMのHPで広く一般向けに公開した。2号試験のテキストは、賛助会員向けに限定的に公開をした。

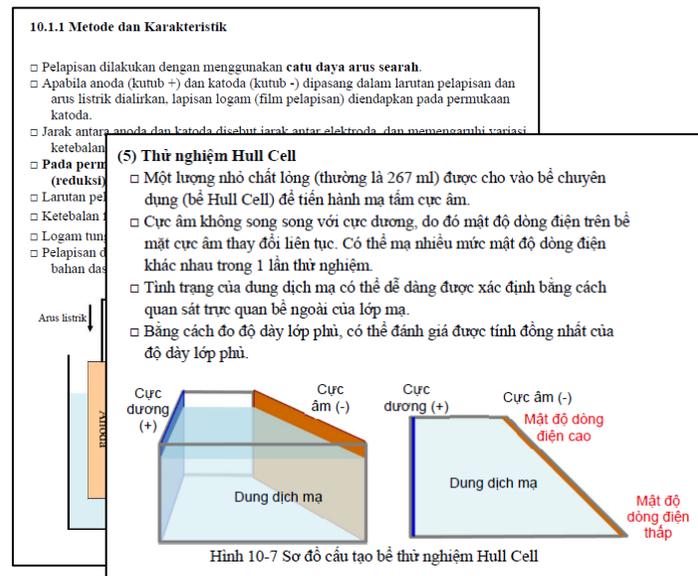
- 次年度以降、テキストの改訂、翻訳対象言語の追加、作成対象の試験区分の追加等、ニーズも踏まえながら検討を行い、受験する外国人の学習環境の整備を進めていく。
- なお、1号試験・2号試験の実施にあたって公正性を損なうことがないよう、十分に留意する。



1号試験のテキストイメージ
(機械金属加工区分)



2号試験のテキストイメージ
(電気電子機器組立て区分)



ベトナム語版・インドネシア語版の
テキストイメージ
(金属表面処理区分)

5. 2026年度の予定(1/3) : JAIM賛助会員向けサービス(案)

- ◆ 現在検討している2026年度に実施予定のJAIM会員向けサービス(案)は以下のとおりです。
- ◆ 賛助会員の皆様は、これらのサービスを御利用いただけます。

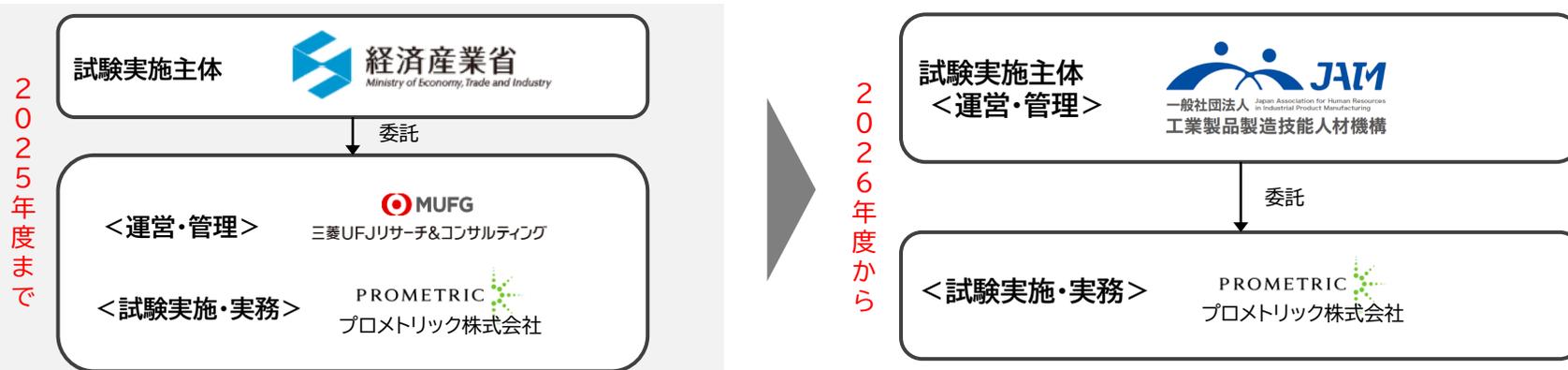
分類	項目	概要
①会員管理事業	■ 分野該当性審査の強化賛助	審査体制を強化し、個別性の高い案件に対応できるフローやマニュアルの整備、研修を充実させる
	■ コールセンターの機能強化と多様な会員ニーズへの対応	コールセンターの体制強化、分かりやすく丁寧なサポートを提供
	■ 会員管理システム・ポータルサイトの利便性向上	情報提供コンテンツを充実させ、会員や利用者の利便性を向上させる
	■ 正会員との連携強化	業界団体との意見交換を通じ、課題や要望を事業推進に反映させる
②技能評価関連事業	■ 特定技能評価試験の問題作成	試験区分ごとに有識者委員会を設置して学科・実技試験問題を作成する
	■ 特定技能評価試験の実施・運営	国内外の試験実施に必要な業務を行う。不正受験防止にも万全を期し、適正な試験運営を徹底する
③広報・会員サポート事業	■ 会員限定セミナーの実施	外国人受入れの実務や最新制度情報、優良事例の共有など専門セミナーを実施
	■ 外国人を指導する日本人のための研修	現場での円滑な指導体制を構築する
	■ 日本語教育機会の提供 (令和7年度より継続・拡大実施)	読解力と語彙力を強化し、仕事上のコミュニケーションで活かせる日本語表現を学ぶ
	■ 外国人向け国内文化研修 (令和7年度より継続・拡大実施)	円滑な定着を促進するための研修プログラムを実施する
④調査関連事業	■ 特定技能2号評価試験の紹介講座 (令和7年度より継続・拡大実施)	特定技能1号外国人向けに、特定技能2号評価試験の概要、全体構成、参考テキスト活用方法等を紹介する
	■ 賛助会員及び特定技能外国人に関する調査・提言	実態調査を実施、現場の課題やニーズから、制度改善に向けた提言を行う
⑤特定技能制度における監理等機能	■ 特定技能外国人のキャリア形成に関するガイドブックの作成	円滑な就労やキャリアアップ形成支援のためのガイドブックを作成する
	■ 特定技能外国人の苦情処理スキームの構築を検討する	特定技能外国人からの苦情処理スキームの構築を検討する
⑥生産性向上及び国内人材確保のための取組(賃上げ等の取組状況の報告)		令和7年度に引き続き実施する

5. 2026年度の予定(2/3)：試験実施主体の変更

- ◆ 試験実施主体の変更:委託事業からJAIMの運営
- ◆ 2026年度からは試験の合格を証明する書類として、試験の結果通知書の提出も認められることとなります。

試験実施主体の変更

- 2026年度から、製造分野特定技能試験評価試験の実施主体は経済産業省から一般社団法人工業製品製造技能人材機構(JAIM)に変更されます。



試験の合格を証明する書類の変更について

- 2026年度からは試験の合格を証明する書類として、試験の結果通知書の提出も認められることとなります。

受験年度	～2023年度 (令和5年度)	2024年度・2025年度 (令和6年度・令和7年度)	2026年度～ (令和8年度)
証明する書類	<合格証明書> 2026年度以降は、JAIMから無償で合格証明書を発行予定です	<合格証明書> 2026年度以降は、合格証明書の発行は行いません または <結果通知書> プロメトリックのマイページから取得できます	<結果通知書> プロメトリックのマイページから取得できます



合格証明書
○



結果通知書
×→○

5. 2026年度の予定(3/3)：ポータルサイトの統合

- ◆ 2026年度、特定技能外国人材制度(工業製品製造業分野)ポータルサイトの情報をJAIM HPに統合します。
- ◆ 特定技能外国人材制度に係る内容やJAIM賛助会員へのサービス機能に加え、特定技能試験情報なども集約し必要な情報をワンストップに集約します。

ポータルサイトの閉鎖について(JAIM HPへの一本化)

- ・ 実施主体の移行に伴い、特定技能外国人材制度(工業製品製造業分野)ポータルサイトは2026年3月31日で閉鎖。
- ・ JAIM HPでは、<企業向け>として「制度概要」「JAIM賛助会員入会手続」「セミナー/講座等のイベント告知や参加者登録」「外国人関連データ紹介」などの情報、<外国人向け>として「特定技能評価試験関連」「セミナー情報」などのコンテンツをまとめて掲載。
- ・ 多くの外国人材の利用を想定し、機械翻訳機能を搭載。多言語対応(英語・ベトナム語・インドネシア語・ミャンマー語)に対応している。



特定技能外国人材制度
(工業製品製造業分野)
ポータルサイト

<https://www.sswm.go.jp/>

2026年3月31日で閉鎖



JAIM HPトップ
<https://www.jaim-skill.or.jp/>

2026年4月1日より情報を統合